環境

****

提案・意見

昼間の花火について

市内でイベントがあるときに、パーンパーンと音だけ鳴る花火を使用していますが、午前中から数時間に置きに鳴らされると、夜勤で寝ている人にはそのつど起こされてしまい寝れません。

時間限定で、何時から何時までと指定するような事はできませんか？

回答

ご提案をいただきました音が鳴るだけの花火（景気花火）は、市が実施するイベント、自治会や神社等の祭事などで打ち上げられています。
景気花火につきましては、地域住民の方々にイベントや祭事の開催をお知らせすると伴に、地域の一体感の醸成を図る意味があると考えられます。

しかしながら、情報手段の多様化等により、住民の方々にお知らせする方法は他の方法もあり、また生活や仕事の形態も時代と伴に変化しており、夜勤の方にはご迷惑と感じる場合があるかと思います。

騒音規制につきましては、工場や事業場における事業活動や建設工事に伴って発生する騒音について規制をしており、祭事やイベントの花火の音については規制の対象としていないため、花火の打ち上げを時間限定で行うよう指導をすることはできませんが、周辺地域への配慮をいただくよう啓発に努めてまいりたいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

担当課　環境課

道路・河川

****

提案・意見

ごみの見える化推進について

市内を流れる勢田川の水が相変わらず汚い。黒褐色～赤褐色の水がずっとどよんでいる。下水道工事が行われたが効果は程遠い。工事は ABC 分析を行って効果の大きいところから行うのが民間の常識なのに、官庁の仕事はどうも違うらしい。ではなぜこんなことになっているのか？

それは住民が汚れたものを水に流すからだ。日本には昔から都合の悪いことは「水に流して」といった文化が根付いている。広報いせにも毎日ゴミの減量ゴミゼロをめざしてといった文言が並び、ゴミの減量を訴っている。水に流れたゴミ汚れは、ゴミではないようだ。カウントされないから。しかし、水に流れたゴミはやっかいだ。

水をきれいにするには、汚水処理場までポンプで運び、そこでエアレーションして微生物に食べてもらい、増殖した微生物をしぼって汚泥を引き抜く。そして水分いっぱいの汚泥を乾燥して燃やす。実に複雑で多くのエネルギー（電気代）を要する。もし、水に流さずに、不用な紙などで汚れをふきとり、可燃物にし、収集運搬して焼却場で燃やせば何と簡単なことか。コストは 1/2 か 1/3 に減るだろう。

ゴミの見える化を進め、勢田川をきれいな川に早くしようよ。そして下流では貝堀、中流では魚釣りのできる観光資源（水辺の町）にしようよ！！

清掃課の人々は、ゴミを減らして仕事を減らして、給料だけを取りたいのではないか。地位、職場の保全。水処理と清掃のトータルコストの減少こそ、ごみ削減の本質であり、市民みんなでチェックしていく必要がある。

回答

勢田川につきましては、平成 3 年 3 月に水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定され、生活排水対策を推進し水環境の改善に取り組んでおります。
伊勢市全域における家庭や事業所などから排出されるすべての汚水が、公共下水道、合併処理浄化槽などの排水処理施設で浄化されることを目指しての普及促進や、市民団体等と連携しエコクッキングや小中学校

への出前講座等を実施し生活排水対策に関する意識を高めていただくための啓発活動に取り組んでおります。

一方、ごみの減量については生ごみの水切りや資源物（ごみ）の分別にあたり、汚れを取り除くために洗っていただくことをお願いしており、公共下水道へ接続、または、合併処理浄化槽を適正に利用されている家庭以外において、排水が適切に処理されないまま河川など公共水域に放流されており、水質汚濁の原因になっているものと思われます。
また、公共下水道や合併処理浄化槽など排水処理が適切に行われている場合においても、汚れた排水を流すことは設備への負荷を上げることになるため、不要な布、衣類などで拭き取ることが望まれます。

今後は、ごみの減量においても水質汚濁に与える影響を考慮し、環境負荷が小さく効果の大きい方法が実施されるよう啓発し、現状、環境基準値を上回る数値となっている勢田川の水質改善を目指し生活排水対策の推進を進めてまいりたいと考えておりますのでご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

担当課　環境課　清掃課

まちづくり

****

提案・意見

まちなみ（景観）整備について

伊勢市では、外宮前の参道と内宮のおかげ横丁界隈は電線がほぼ地中化されており景観がとても整備されています。　しかし、それ以外の市街地密集地域は未だ整備されておらず地中化も遅れ気味です。

伊勢に観光で訪れていただいた人々に別世界の癒しの空間を味わってもらう意味でも、更なる地中化をしていただけるととても昔の気分を味わえてよいかなと思います。
是非、市の街並み整備条例などの速やかな制定を望みます。

回答

このたびは、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
無電中化（地中化）につきましては、現在三重県にて、主要地方道鳥羽松阪線の約 800m区間（伊勢市駅～尼辻交差点）を平成 19 年から平成 26 年（予定）で事業中です。

市におきましても、昨年の遷宮を契機に伊勢市駅と外宮を結ぶ外宮参道に、大勢の観光客がお見えになっており、より一層の景観形成を図るため、外宮参道と交差します本町宮川堤線の一部（主要地方道鳥羽松阪線本町１交差点～吹上交差点付近）につきまして無電柱化を考えています。

また、これまでに、外宮参道、おはらい町におきましては概ね無電中化が完了しており、二見町茶屋の夫婦岩表参道については電柱をダークブラウン色とするなど、まちなみとの調和に配慮しています。

本市では、良好な景観の形成をすすめるため、平成 21 年 3 月 19 日に伊勢市景観条例、平成 21 年 5 月 1 日に伊勢市景観計画を策定し、平成 21 年 10 月 1 日より運用をしています。
ご意見いただきましたとおり、都市のイメージをつくる上で道路などの公共施設は景観を構成する要素として、大きな役割を果たしています。
本市固有の豊かな自然風土や個性あふれる歴史文化に育まれた景観は、市民共有の財産であり、市全域に広がる豊かな景観を後世に引き継いでいくため、良好な景観形成に努めてまいります。
今後とも景観行政にご理解ご協力賜りますようよろしくお願いします。

担当課　都市計画課

まちづくり
****
提案・意見

歩行者分離信号について

伊勢市は古い町並みと観光地と言う事もあり、車で移動するには不便な街です。そこで観光客で賑わう休日は自転車に乗るようにしています

最近歩行者分離式信号がいくつか設置され、増えつつあるように思いますが今すぐに撤去して頂きたい。
渡れるようになるまで暑い日差しの最中、アスファルトの照り返しも手伝い汗だくになりながら信号が変わるのを今か今かと待ち続けなければなりません。

また、初めての場所で、車が直進しており歩行者用信号が見えにくい所で、赤なのに信号無視してしまいました。
普通は車が直進していれば歩行者は直進出来るでしょう？

回答

信号機の設置、管理は、公安委員会（警察）が行っていますので、ご意見を伊勢警察署にお伝えいたします。
また、伊勢警察署の担当者から、歩車分離信号機についてお聞きしましたので、ご説明します。

歩車分離信号機は、横断歩行者と右左折してくる車両との交差を無くし、交通事故を防止することを目的としておりますので、その分、必然的に待ち時間が長くなっています。
交差点内での歩行者と車両の交通事故を減少させるため、設置されたものでありますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

担当課　交通政策課

観光

****

提案・意見

カジノ特区申請について

ちまたでは、今年度内のカジノ合法化が取りざたされています。
かつては、鳥羽が名乗りを上げていましたが、いまは影を潜めています。
伊勢市がこの時流に乗り特区を申請し、おかげ横丁以外の場所でアクセスがすぐできるようなところに立地することも視野に入れて特区申請し、カジノを誘致できれば観光客も増えるのではと思います。
まちおこしも含めて、そのようなビジョンはないですか。

回答

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

ご承知のとおり現在政府としては、観光振興や地域振興、産業振興に資することが期待されるとし、カジノを含む統合リゾート（ＩＲ）の実現に向けた動きを活発化させています。
政府が想定しているＩＲは世界最大級の規模でカジノ以外にも、大規模宿泊施設、大型劇場、国際展示場などの併設を想定しているようです。
当然、交通インフラなどＩＲの規模に見合ったものが必要になり、現状で流れてくる情報では、結果的に大都市圏での実現を想定していると考えられます。

伊勢市には多くの観光客に訪れていただいています。市としましては、これらの方々をできるだけ市内に広く周遊させ、経済効果を広めたいと考えております。ＩＲに限らず大規模施設の誘致は、集客の目玉になるため歓迎されるものではありますが、大規模な観光集客施設ができると、観光客の流れがその中で完結してしまい、既存の観光事業者を圧迫してしまう恐れもあります。

現時点で、カジノの運営は法律で禁止されています。このことから、カジノを合法化することに対し治安悪化やギャンブル依存症の増加、青少年の健全育成への悪影響等を懸念する声も根強くあるため、「神宮御鎮座のまち伊勢に合うのか？」という声も聞かれますことから、仮に伊勢へ誘致する方向で検討するとなると、慎重な議論が必要と考えられます。

いずれにしましても、国でも検討の段階であり、確定している事柄はないと思われます。今後も動向を見守りつつ、情報を精査し、ＩＲが、伊勢市が観光地としてさらに飛躍するために必要な要素であるかどうかを見極める必要があると考えます。

これからも広い視野を持ち、伊勢市の観光の活性化に努めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

担当課	観光企画課

防災

****

提案・意見

防災メールについて

防災メールの受け取りを項目別に細分し、希望する項目のみ受信できるようにしてほしい。家を離れての仕事中に、一番気になるのは気象に関する防災項目。

仕事中に行方不明者の連絡や、他の広報等のメールをいただいても何もできません。仕事の妨げになるのでメールは解除しましたが、家にいても雨天候の時は、特に放送も聞こえないし、ケーブル TV も契約していないので情報がわかりません。
本当はメールだけが頼りなのです、よろしくお願いします。

回答

伊勢市メール配信サービスは、「防災行政無線情報」「防犯情報」「火災情報」を項目別に配信し、希望する情報の受信をしていただくことができます。
この中で、「防災行政無線情報」は、防災行政無線と連動しており、放送と同時にメールが配信される仕組みとなっています。
また「防犯情報」及び「火災情報」は、防災行政無線の放送は行わず、メール配信のみとなっております。

防災行政無線放送は、「地震、津波、台風、洪水等の災害情報、並びに、人命にかかわること、その他特に緊急重要なもので市民に対し緊急に伝達を必要とするもの」を基本として運用しています。行方不明者の情報提供は、この中の「人命にかかわること」に該当し、放送は警察に捜索願いが提出され、警察から依頼のあったものに限定しています。

今回、ご意見をいただいた防災情報と行方不明者の情報提供の細分化についてですが、防災行政無線放送と連動しており、現状では細分化できず、システムの改修に経費が必要となることから、当面は現状での運用を継続したいと考えています。

また、防災行政無線は、災害時には最大音量で情報をお伝えいたしますが、放送施設の設置場所や周囲の状況の変化、気象状況などの影響に加えて、住宅の機密性が向上していることから宅内での聞き取りが困難な状況も増えてきています。このような状況を補完する手段としまして、

防災行政無線で放送された内容を、携帯電話等へ「メール配信」を行っていますが、「ファックス配信」も導入しておりますので、ご家庭でファックスがご利用できる環境でしたら、こちらのご利用のご検討もいただくようお願いいたします。

詳しくは、市民便利帳や伊勢市ホームページでご覧いただくか、危機管理課までお問い合わせいただくようお願いいたします。

担当課	危機管理課

税金

****

提案・意見

所得証明について

家族の所得証明が必要な場合、印なしでサインとしていただきたい。
子の証明が必要な場合でも、印が必要となっています。
他の家族等複数必要な場合は、シャチハタの全ての同じ印でよいというのであれば、サインのほうが信頼できるのではないでしょうか。（証拠能力もある）

回答

所得証明書につきましては、地方税法第２２条の守秘義務規定により、ご家族の方のものであっても、本人以外の方が申請される場合には、委任状の確認、または、当市備え付けの証明・閲覧申請書の委任者欄の記載、押印の確認をして発行しているところでございます。

ご提案いただきましたように、家族の所得証明が必要な場合には、委任者の印なしで、サインとした方が信頼できるのではないかということでございますが、申請書のような私文書につきましては、民事訴訟法第228条第4項の規定により、本人の署名又は押印の確認を必要としております。このことから、課税課窓口では委任者本人の署名（サイン）であるかを確認することができないため、押印による確認を行っているところでございます。

なお、シャチハタの全て同じ印というご指摘につきましては、市民の利便性を考慮しまして、印鑑証明までは求めず認印での確認としております。

市民の皆様にはお手数をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

担当課

課税課

教育

****

提案・意見

部活動の熱中症対策について

部活中に熱中症の生徒が出たと聞きました。
これからもっと暑くなるし、熱中症は命にかかわることもあるので、すぐに対応してほしいです。
夏休みだと活動している時間帯が違うと、その部活の先生しかいない場合に、どこにいるか分からないと何かあった時に困ると思います。

猛暑日はクラブ活動を控えるなど基準はないのでしょうか?
またクラブ活動中に先生は近くにいなくてもいいのでしょうか?

回答

近年の猛暑の状況から、子どもたちの熱中症については様々に注意喚起と事故防止の指導を行っているところです。

伊勢市としましては、猛暑日の部活動停止の基準は設けておりませんが、学校では各部活動顧問が気温や湿度、子どもたちの状態を適宜判断して部活動を行っております。
すべての部活動に複数顧問が配置されていない状況ですので、顧問が活動場所を長時間離れるときは、近くで活動している他の部の顧問が子どもたちの様子を見守るよう声をかけ合っています。

今回の熱中症の件につきましては、該当校から詳しい状況を聴き取り、部活動中の生徒の見守り体制や今後の熱中症予防対策について指導いたしました。

熱中症による事故防止については、今年度 5 月 23 日、6 月 2 日、6 月 18 日、6 月 26 日、7 月 9 日、7 月 10 日の計 6 回、市内の小中学校に向けて、指導の徹底依頼と資料提供、冊子の配布（1 回）を行っております。

また、多くの小中学校では熱中症対策を含む救命救急法の講習会を開き、教職員や児童生徒たちが熱中症予防や対策、AED の使い方などを学んでいます。熱中症により気分が悪くなった生徒に飲ませるスポーツ飲料や、熱中症対策キットを常備している学校もあります。

伊勢市におきましては、平成 26 年度から平成 29 年度にかけて、市内 36 校を 4 グループに分け、消防署による 3 日間の応急手当普及員講習会に各校 1 名が参加し、応急手当を習得することになっております。そしてその教員が各学校で還流することにより、教職員の熱中症対策への意識と技能を一層高めていきたいと計画しております。

このようにこれからも子どもたちの安心安全を第一に、全教職員で取り組んでいきたいと考えております。

担当課	学校教育課

教育

****

提案・意見

いせトピアの公開講座について

６月２８日(土)のいせトピアでの拉致被害者蓮池薫さんの公開講座に、抽選もれになった者です。それは止むを得ないことですが、せめて場外のホールで大型テレビでなくとも、少しぐらい大き目のテレビで放映していただきたかった。滅多にない機会でした。それこそ生の声とお姿を見たかった気持、止み難いものがありました。

折しも６月３０日（月）の NHK「クローズアップ現代」は拉致問題がテーマでした。私は拉致問題解決の目処が立たない限り、よく政治家が使う言葉に「もはや戦後ではない」などと言えない思いを持ち続けている一人です。ひとの犠牲の上の平穏な生活に心が痛みます。

回答

今回の公開講座の応募は定員４５０名のところ、１４５０名もの応募がありましたため抽選となり、残念ながら講演を聞けなかった方が多数ありましたこと、大変申し訳なく思っております。

　ご提案のありました１階ふれあい広場（場外ホール）でのテレビ放映につきましては、この施設全体が基本的に生涯学習の学びの場となっており、ふれあい広場での展示や各部屋での活動など他のお客さまへの影響もありますことから、これまでの公開講座においても対応していない状況です。ご期待に添えませんこと誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い致します。
今後も皆さまからご注目いただけるような講座を開催していきたいと考えておりますので、ご応募いただければ幸いです。

担当課

社会教育課

教育

****

提案・意見

市内の美術館等の充実を

伊勢市の観光の目玉は、当然　伊勢神宮と外宮・内宮の前にある昔ながらの街並みおよび商店ですが、神宮美術館・徴古館も見るというところは楽しめると思います。
しかし、有名な画家などの収蔵品も少ないため、時間的に楽しめるかというと少し疑問を感じます。

岡本太郎のオブジェを神宮美術館に移築してみんなに見ていただけるようにするとか、ダリやセザンヌ等の有名な収蔵品を増やすとかして滞在者に満喫していただけるような取り組みはいかがでしょうか。
また、おかげ横丁の近くにあるイオンなどにシネコン誘致することで、滞在しているひとが夜も楽しめるようなエンターテインメントを充実してはいかがかなと思います。

回答

ご意見をいただき、ありがとうございます。
身近にこのような施設があればと思いますが、なにぶん財源を要しますことから、今すぐにとりかかることは大変難しいと考えます。

なお、今後の計画などを策定する際には、参考にさせていただきたいと思いますので、ご理解を賜りたいと存じます。
少し、神宮美術館の紹介をいたしますと、美術館には、文化勲章受章者、文化功労者など、数多くの日本を代表する美術・工芸家が神宮に奉納した作品が展示されており、沢山の作品を見ることができます。

また、神宮美術館とは趣の異なった伊藤小波美術館やマコンデ美術館があるほか、庶民の暮らしを伝える個人のコレクションや地場産業の工房など、「伊勢まちかど博物館」として公開されています。

伊勢まるごと博物館のマップ、グーグルマップ、伊勢ぶらり（町歩き支援アプリ）など、市民や伊勢を訪れる方々に伊勢市を満喫いただけるよう、美術館、博物館、文化財等々を周知・案内してまいりたいと存じます。

担当課

文化振興課

教育

****

提案・意見

大仏山公園のバーベキュー施設について

先日、大仏山公園のバーベキュー施設の使用申請に行きました。係の方に「予約は出来ません、毎月抽選です。」と言われました。

色々計画しても抽選で外れましたと言うことがあるのなら、３ヶ月くらい前から予約が出来るようにしてもらわないと、予定が立てられなくて困ります。

回答

大仏山公園スポーツセンターをご利用いただきありがとうございます。ご提案の予約時期についてですが、BBQ 施設に限らず他の体育施設も、イベントや大会等により会場確保が必要な場合は、先行予約を受け付けております。

一般的なご利用の場合については、皆様に公平に利用していただけるよう １ ヶ月前の申請により抽選という方法を取っているところでございます。
広く皆様にご利用いただくために、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

スポーツ課

その他

****

提案・意見

表示マーク交付事業所（宿泊施設）の市ホームページでの公開について

政府広報にもありましたように、8月1日をもって宿泊施設に対する表示制度（適マーク）の交付がはじまります。
今回の制度創設にあたってはネットでの情報発信をもって広く防災の安全基準を知らしめ消費者に対し安全･安心を提供することが目的と聞いています。

ただ各地方公共団体（消防本部）によってはその交付事業所の公開をホームページ上で行なう予定がいまだにない地域もあるようですが伊勢市にあってはどのような対応をされるのでしょうか？

いずれにせよ集会都市､伊勢市を唱えている以上多くの適合事業所を公開することが本来の姿であろうと思いますがいかがでしょうか？
県内の近隣市は公開の意向をすでに発表しているところがあります。
情報は消費者にためにあり表示制度は安心・安全のためにあります。

回答

ご提案いただきました提案内容について、回答いたします。
伊勢市消防本部では、表示マーク対象施設等につきましては、随時、ホームページへの掲載を予定しております。
ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

担当課　予防課

その他

****

提案・意見

救急車の有料化を

救急車の要請があった場合、ごちゃごちゃ言わず、出動して下さい。
有料でもいいから。すぐ救急出動して下さい。
本当に必要をする人に出動を。当然タクシーよりは高額に！！5000 円から１0000 円

回答

このたびは、消防行政に対しましてご意見をいただきましてありがとうございます。

119 通報が消防本部に入ると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお伺いします。なお、出動場所が判明した時点で、すべてお伺いする前に救急車が出動する様にしています。 お伺いする事項は下記の事項です。

(1) 救急車にきてほしい住所
(2) 具合の悪い方の年齢、症状等
(3) 連絡先

上記の内容は、救急車が確実に要請場所に到着し患者様を適した医療機関に迅速に搬送するためです。

救急車の利用法については、伊勢市のホームページ暮らしのガイドに掲載しておりますのでご高覧ください。

また、救急車は、要請があれば 24 時間 365 日すべて出動します。
救急要請が重なり隣接の署所から出動したり、道路事情で遅れることがございます。
患者様が、拒否された場合は出動、搬送はしません。
なお、消防に要する費用は、市町村が負担すると法律で規定されています。

今回ご意見につきましては、今後の消防サービス向上に役立てたいと考えますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

担当課

消防課

その他

****

提案・意見

公金横領等

（１）公金横領した職員の経緯詳細をくわしく公表し、今後の再発防止策を公表して下さい。

（２）豊川町から旭町（宮崎殿から藤里のベリーあたり）の道が、とても危険です。曲がりくねっているので、センターをはみ出す対向車に二回程ぶつかりそうになりました。センターラインを引くなど対策を講じて下さい。

回答

（1）このたびは、不祥事につきまして心からお詫び申し上げます。
今回の不祥事の経緯につきましては、伊勢市ホームページに掲載しております。今後は、警察への刑事告訴を予定しており全容の把握に努めてまいります。
　再発防止策につきましても、現在検討しております。
これからも、職員一丸となって市民の皆様の信頼を取り戻すために努力してまいりますのでよろしくお願いします。

（2）センターラインを設置するには、道路構造上、幅員が５．５ｍ以上必要となり、岡本３丁目から豊川町へ抜ける市道（岡本旭線）はその幅員が確保できないため、センターラインは設置しておりません。カーブには、カーブミラーを設置し安全対策を講じておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

担当課

職員課　維持課

その他

****

提案・意見

市役所内の情報伝達について

伊勢市観光振興基本計画（案）の意見募集をした際に、高校生からも意見を募った事を、市長に質問をする機会があり、そのことについて伺いました。
市長からは、高校生から意見があったのかどうかわからないご様子でしたが、後日、市役所より高校生から意見が来なかった旨を教えていただきました。

意見募集の結果には、高校生に意見を募りましたで終わっています。
今後は、正確に「募ったが意見がもらえなかった」までを結果として公表してほしく思います。
今回のことで、私は市役所内の情報伝達に疑問を持ちました。
意見募集を行った際、高校に出向いたことを市長に報告したのでしょうか？
意見募集及びその結果報告に関して、市長は目を通されているのでしょうか？
また、高校からの積極的な協力が得られないことに関して、市役所としてどのように考えているのか？
今後どのようなことを行うのか、市役所としての考えを聞かせて下さい。

回答

パブリックコメントを実施する際には、政策意見提出制度実施要綱に基づき、募集期間や意見を提出できる方、案の閲覧場所や意見の提出方法などを定めて市長まで報告しております。また、パブリックコメントの結果についても、提出された意見の概要、意見に対する実施機関の考え方、政策等の案を修正した場合における当該修正の内容等を公表することとしており、結果の公表の際には、市長まで報告しております。

今回の伊勢市観光基本計画（案）においては、観光分野で関係のある高等学校３校に対して生徒へのパブリックコメントの周知を依頼しましたが、意見はありませんでした。全体的に寄せられる意見は少ない中で、特に若年者から意見を得ることは難しいのが現状であると認識しております。
パブリックコメント制度については、意見提出の機会を保障し、提出さ

れた多様な意見を十分考慮して、意思決定をするということが制度の趣旨であり、パブリックコメントの実施にあたっては、さまざまな立場の方から幅広くご意見をいただけるよう周知することが重要であると考えております。

今回実施したパブリックコメントでは高校生からの意見はなかったという結果でしたが、より多くの意見が得られるよう、実施する案の内容に応じて、関係する自治会や団体、学校へもパブリックコメントを案内するなど、制度の運用において、周知する方法や内容について工夫や改善を検討していきます。また、公表する結果については、周知方法に応じた結果を記載するなど記載方法や内容なども検討していきます。
ご意見ありがとうございました。

担当課	総務課